

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590300115		
法人名	有限会社 三井福祉会		
事業所名	グループホーム 居場所あおの		
所在地	新潟県上越市青野2080-1		
自己評価作成日	令和2年9月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590300115-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和2年11月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成19年1月開所から13年が経ちました。施設周辺は田畑や竹林があり、ため池百選に選ばれた青野池が水を満々と蓄えています。緑も多く、のどかでゆったりとした環境に包まれています。当施設の理念でもある、地域との交流に努め、夏祭りや町内行事に参加をしたり、地域の方々と「認知症サポーター養成講座」を共に学んでいます。

ご利用者様への支援は、「自立した生活」を念頭に、ADL・QOLの向上を目指しています。又、季節に合わせ、お花見、紫陽花、紅葉見学に出かけ、季節の移り変わりを感じながら生活を送っています。誕生日には出来る限り外出し、豪華な食事を楽しんでいます。個別に外出も支援しており、行きたいところへの支援を行っています。

日常生活やホームでの様子は、担当者が2か月に1回ご家族に手紙で報告をおこない、3か月に1回広報誌を発行し、ご家族や地域への回覧、運営推進会議での配布をおこない、生活の様子をお知らせしています。

平成29年度から委員会を立ち上げ、ご利用者の生活に潤いと安心安全、そして、信頼関係を構築できるよう職員一丸となって働きかけを行っています。又、介護福祉士の取得割合も増加し、立ち上げ当初は半数以下の取得率でしたが、今年度は職員の7割以上が介護福祉士取得者となり、質の向上にも繋がっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域と共に作りあげていく地域に根ざした取り組み

事業所は市街地から少し離れた自然豊かな地域に立地し、開設13年目を迎えた。周辺は田畑が盛んで竹林があり、外に一步出れば深呼吸したくなるような、のどかでゆったりと過ごせる環境にある。古民家をモチーフにした外観であり、「家」で生活することをコンセプトとしている。地域の方との交流を大切に、地域の一員となれるよう働きかけながら行ってきた。今年度はコロナ禍の感染予防の観点から面会も制限し、地域への活動は中止され外出もままならない状況の中であるが、事業所前の道路の掃き掃除や落ち葉拾い、側溝の掃除など地域貢献を行っている。

○働きやすい職場作りに向けた取り組み

平成29年度より8つの委員会を立ち上げ、管理者、職員が一丸となり話し合いを積み重ねながら取り組みを行っている。管理者が適材適所で各職員が活躍できるよう委員会のメンバー構成を行っている。各職員は年度初めに目標設定を行い、上半期と下半期の年2回ほど管理者と面談し、目標の達成状況を確認している。そのため、介護福祉士の国家資格習得率も上がり、全職員が習得する事を目標としている。また、個々の目標達成度、今年度頑張った委員会、職員に表彰するという制度も取り入れ、働き甲斐のある職場作りを目指し取り組んでいる。また、管理者は一人に辛い思いや負担をかけずお互いに協力、努力し誰もがリーダーとして活躍できる人材育成、職場作りを目指している。

○利用者が安心して過ごせるサービス支援

法人理念にもあるように「一期一会を大切に、その人らしい生活の継続を支援する」を具体化するため、職員は利用者の生活歴を把握し、入所後も利用者一人一人を見た観察力と個別の関わりや日々の気づきを吸い上げ、その方が大切にしている事、日課にしている事が続けられるよう独自のアセスメント表を活用し実現に向けて取り組んでいる。その人を知るにはどのような支援が必要なのか、利用者との日々の関わり、発した言葉を大切に、その人らしい支援に繋がるよう全職員で前向きに取り組んでいる。また、事業所に来られる全ての方に挨拶を徹底することで、事業所全体の雰囲気も良く「気持ちいい」「心地よい」と感じてもらえるよう日々のケアに取り組んでいる。